





山本信男さん(南河原小学校教頭)

**学校と家庭が協力して、本気で子供たちに学力を付けることを考えたい。**

島野 同感です。私も家庭学習では書かないかというところではなく、けじめが付けられているか、時間の使い方が有効に関わると思います。

遠藤 部活動との両立が難しいという話も聞きますが。

柳原 入学したばかりの中学1年生はかなり疲れています。慣れれば時間は確保できます。

島野 以前の家庭学習は書くことが多かったと思いますが、最近は書くことが減ったと感じています。

山本 書いて覚える、声に出して覚えるというのとはとても有効ですよ。

遠藤 自分が子どものころ、新聞のコラムを何文字以内にとめるという宿題があり、大変だったけれど、それがとても印象に残っています。

柳原 私は最近の子供たちにペンがないのが気になります。

くことを中心にやらせたいと思います。

遠藤 1日1ページでもしっかりやれば効果が出ますよ。

柳原 昔の頑固おやじ、それくらいの気持ちで親も覚悟を決めましょう。家庭学習を習慣付けするには、親の強い意志も必要です。

増田 書くことが減るとともに、子供たちが自分の力で考えることが減っていると感じます。

江森 考える力が未熟で、ほかの考えに活用できないという話も聞きますね。

柳原 高校入試も問題の傾向が変わり、単なる〇×ではなく、読み取ることでできないと答えにたどり着けなくなっています。今、求められている学力は、いかに自分の言葉で表現できるか。まずは、勉強する習慣づくりから始め、実力を付けていかなければなりません。



柳原功さん(忍中学校校長)

**家庭学習を習慣化するためには、親の強い意志も必要です。**



島野幸江さん(中学校保護者)

**苦手なことでも、地道にやり遂げることで力になると考えています。**

★「家庭学習のすすめ」のススメ★

司会 学力向上のために必要なことは、何だと思えますか。

江森 学力向上と日常の生活習慣は、やはり切り離すことができないですね。

山本 埼玉県調査からも読書をよくなる子どもは、学力が高いという結果が出ています。

柳原 子どもに目を向け、ちよつとした工夫で家庭学習はできるようにになります。

島野 自分の子どものころと比べて、今の子どもは受け身であると感じています。自主学習というからには、自分で課題を見つけられるまで高めるのが理想だと思うのですが。

増田 親は子どもに社会性を身に付けさせるために、勉強が将来どのような

に役立つのかを教える役目があると思います。

江森 親が学校とのつながりを持つこと、子どもも変わると思います。

島野 十分でなくてもいいから、いつも子どもに関わっていくことを忘れないことが大切です。

山本 学校と家庭が協力して、本気で子どもに学力を付けることを常に考えたいと思います。

柳原 親が真剣に子どもに関わるきっかけづくりとして、この「家庭学習のすすめ」が糸口になればと考えます。

島野 「何をやらせたらよいか分からないから、家庭学習ができない」という子どものために、そして、どうアドバイスしたらよいか分からない親のために「家庭学習のすすめ」をぜひ勧めたいです。



増田雅久さん(小学校保護者)

**親には、「勉強が将来どのような役に立つか」を教える役目があると思います。**